

往還する人々の教育戦略

志水 宏吉

(目的)

2つ以上の国に生活基盤をもつ、日本在住の「外国にルーツをもつ人々」の子どもの教育についての意識・行動を「教育戦略」という概念で把握し、その実態・多様性に迫る。そのことを通じ、日本の教育システムの特性とそれが内包する課題を明らかにし、あるべき今後の姿を展望する。

(メンバーとチーム構成)

国際結婚班：山本ベバリーアン（大阪大）、渋谷真樹（奈良教育大）

中国韓国班：鍛冶致（大阪成蹊大）、中島智子（プール学院大）

ブラジル班：林崎和彦（福岡教育大）、山ノ内裕子（関西大）

外国人学校班：志水宏吉

(研究成果)

裏面

(今後の方向性)

今年度内に、『往還する人々の教育戦略』というタイトルの商業ベースの本を刊行する。それとともに、「国際移民」をテーマとした近年の関連領域における研究の総括的レビューを、プロジェクト全体の「移民班」の巻に掲載する。

参考：国際結婚班の内容構成

1. 国際結婚家庭とその子ども（山本、バルゴア）
2. 日本の学校に通う国際児と家庭の教育戦略（キム、敷田）
3. インターナショナルスクールに通う国際児と家庭の教育戦略
4. 海外在住の国際児と家庭の教育戦略（渋谷）（山本）
5. 複数の学校システムを利用する家庭の教育戦略（山本）
6. 分析結果の総合的考察（山本、渋谷）

(H22年度の研究成果の一例)

エスニック・スクールにおける保護者の教育戦略—アジア系3校を事例に

(日本教育社会学会第62回大会、2010.9.19、at 早稲田大)

表 4-1. 対象校の概要

学校	X校	Y校	Z校
学校種	各種学校	一条校(私立学校)	各種学校申請予定
学校段階	小・中	幼・小・中・高	中・高
主な対象	中国系(老華僑)	韓国系	コリア系
設立年	1899年	1946年	2008年
児童生徒数	計676名	計434名	計40名
エスニックコンポジション	中国籍(華僑13.2%, ニューカマー13%)、 日本籍(華僑61.4%, 日本人10.4%)	在日65% ニューカマー20% 日本人15%	在日38人 韓国系ニューカマー1人 日本人1人
教職員数	計45名	計72名	計24名
エスニックコンポジション	卒業生85% 留学生15%	在日50%以上+韓国人 日本人 その他の外国人	在日4名 日本人10名 韓国系ニューカマー7人 その他の外国人
授業の使用言語	主に中国語	主に日本語	日本語・コリア語・英語
進路先	ほぼ高校進学	ほぼ大学進学(韓国の大学含む)	ほぼ大学進学希望(今年度に1期生が卒業)
授業料(月額)	小学部1万8千円、中学部1万9千円	小学校1万5千円、中学校2万円、高校3万円	中等部2万8千円、高等部3万8千円
言語教育	中国語>日本語>英語	日本語>韓国語>英語	英語>コリア語>日本語
イマージョン	あり	なし	なし
OB/OGの生徒数	多い(約5割)	少ない	
OB/OGの教員数	多い(約8割)	少ない	
募集対象	OB/OG優先	特になし	特になし
学校形態	各種学校	一条校	各種学校申請予定
学校理念	華僑のための学校	在日韓国人のための学校	「越境人」育成のための学校

表 5-1. 保護者の教育戦略

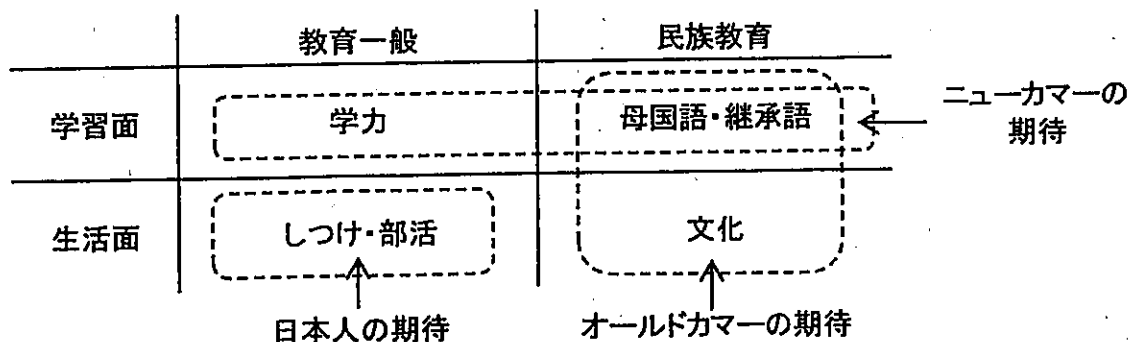


表 5-2. 各校エスニック・アイデンティティの再生産/生産の傾向

	本国	エスニック・コミュニティ		エスニック・アイデンティティの再生産/生産
X校	—	+	→	華僑コミュニティに根づいた華僑アイデンティティの強い再生産
Y校	±	±	→	在日アイデンティティと韓国人アイデンティティの再生産
Z校	—	—	→	新しい在日アイデンティティの生産